

白老町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

No. 4

担当部署	経済振興課		商工業G							
事業名	地域特性を活かした商業・観光活性化事業						加速化交付金			
平成28年度事業費	10,155,971					円	関連施策等			
事業概要・実績（内容）	象徴空間開設に向けて、町内事業者が行う商品開発等の活性化の取り組みに対し助成金を交付する（実施主体：白老町商工会） 実績：商品開発、集客対策など 7件、10,000千円						101010102			
							302030101			
							504020101			
事業効果・成果	水産加工業、林産業、飲食業、製造業など、幅広い業種で助成金が活用され、象徴空間開設に向けて、地域資源の有効活用や、商業・観光の活性化につながった。									
事業の課題等	開発した商品の情報発信など、事業効果を継続・発展していく取り組みが求められる。									
翌年度以降の事業の方向性	地域活性化に向けた重要な取り組みであり、商業・観光の魅力づくりをさらに促進するため、翌年度以降も継続する必要がある。									
重要業績評価指標（KPI）		単位	目標値	当該年度達成率	2015（平27）	2016（平28）	2017（平29）	2018（平30）	2019（平31）	
1	アイヌ文化等の地場資源を活用した空き店舗による創業者の件数および商業観光の拡大に取り組む件数（活性化）	件	8	137%	13	11				
2										
3										
4										
5										
加速化	地域資源を活用した空き店舗による創業者の件数および商業観光の拡大に取り組む件数(活性化)	件	20	120%		24				
事業の評価	①重要業績評価指標（KPI）への有効性						A	12	A	
	A. 直接効果あり B. 間接効果あり C. 効果なし									
	②町が実施する必要性									
	A. 必要 B. どちらともいえない C. 不要									
③事業実施の有効性、成果						A				
A. 効果あり B. どちらともいえない C. 効果無										
④事業の効率性						A				
A. 適切 B. 改善の余地あり C. 非効率										
有識者意見									評価	
<ul style="list-style-type: none"> 商品開発、集客対策等の助成事業について、一定の成果は見られた。事業の継続を望む。 開発商品の効果分析を行い、更なる支援体制の検討が必要。また、効果的な事業と思われるものには、金額の増額が必要である。 KPIの具体化や見直しが必要。 									A	